

授業科目 障害の評価と義肢装具演習

【担当教員名】 高橋 素彦		対象学年	3	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 対象者の条件に合致した義肢装具のデザインを行えるようになるために基礎的評価手法と義肢装具の機能を学ぶ。症例課題のビデオ演習を行うことによって、呈している症状の原因を突き止め、求められる機能を備えた義肢装具をデザインできる力をつける					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 義肢・装具のデザイン検討に必要な対象者の評価について主な項目を説明できる。 2. MMT やROM など、基本的な運動機能評価について説明し実践できる。 3. 反張膝症状に関して、呈している症状の原因を説明し適切な装具デザインができる。 4. 大腿義足装着者の異常歩行の原因と解決策が説明できる。 5. 切断者の機能評価について説明し、実践できる。 6. 片麻痺者の機能障害を評価し装具が選択できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	基礎的評価手法 その1			1	
2	基礎的評価手法 その2			1,2	
3	基礎的評価手法 その3			1,2	
4	ビデオ演習 反張膝 その1			3	
5	ビデオ演習 反張膝 その2			3	
6	ビデオ演習 反張膝 その3			3	
7	ビデオ演習 大腿義足装着者 その1			4	
8	ビデオ演習 大腿義足装着者 その2			4	
9	ビデオ演習 大腿義足装着者 その3			4	
10	ビデオ演習 切断患者 その1			5	
11	ビデオ演習 切断患者 その2			5	
12	ビデオ演習 切断患者 その3			5	
13	ビデオ演習 片麻痺患者 その1			6	
14	ビデオ演習 片麻痺患者 その2			6	
15	ビデオ演習 片麻痺患者 その3			6	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		観察による歩行分析	キルステン・ゲッツノイマン	医学書院	2005・5,000円+税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 小テスト（総合評価の約10%）最終テスト（総合評価の約90%）を総計し評価する		【履修上の留意点】 欠席が時間数の1/3を超えた場合、単位認定資格を失う。遅刻2回で1回の欠席とする 1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点、最終評価から減点する			